

動植名彙

四

利  
137  
4





動植名彙四

木部

阿行

あからかーハ

あからかーハ 参考スルニ

一万廿五 いふに燈のあかりかーハ 時をあらけ 君をあらけり

とさいぞとさいぞ あー 貫之家歌合 志々香の降つりぬる

美山いほのしかりしも 理れよん子 谷川氏北野天神霜月朝

御ヲ申スルニ 又四月兵御

あかさ

赤竜皮

古節亦木

あかたよ

和傳薰陸香 安加不末

又琥珀 安加不末 唯日本 秘事 薰陸

動植名彙四





あふらのみ

本和<sub>下</sub>三練實<sub>阿布知</sub>乃美<sub>知</sub> 大世六<sub>三</sub> 阿布知乃加波

あふらのかは 見上

あそのみ 見上

あそをひのみ

枕 みまけちうてくわる人をとちりてありくめら何  
の公してあそをひのみとつけんはちきまきくゆあり  
とありや 信友按<sub>あそをひのみ</sub>をりあり

あづき

本和<sub>下</sub>三 梓白皮 阿都佐乃岐 和梓  
字梓 藻丸<sub>三</sub> 和傳梓白皮 和玉梓<sub>アツ</sub>  
都<sub>五</sub>乃 入<sub>阿</sub> 蘇方木<sub>阿川</sub> 佐<sub>伊</sub>  
岐<sub>之</sub> 支

あつほり 阿方<sub>ハ</sub>

医<sub>セ</sub>

あはき

和憶<sub>アキ</sub>

あはさき

大五<sub>禰</sub>部 阿波<sub>荒</sub>支

あまか 阿<sub>一</sub> 糸<sub>見</sub>上

あま<sub>く</sub>み

大五<sub>三</sub> 阿<sub>万</sub>久<sub>民</sub>

あま<sub>さ</sub>や<sub>くら</sub>

和傳<sub>小</sub>藤 安<sub>糸</sub>支<sub>之</sub>也<sub>之</sub>苗<sub>西</sub>山<sub>石</sub>榴

あま<sub>な</sub>

和玉棠

あまらぐら

江次第可栗

枕

大食地あまらぐらの使

ありのみ

あー糸見

あちまき

本和上老

檳榔

和傳快榔

阿知赤佐

伊字同

延檳

檳アエメ

メサノ誤カシ

あへたらば

タチハチ

万土共 わきまふよしを久くしもうちあへたのら

あすまてふ

本和下世三檳

あへら

大

あえたち

大

あいつ

和

伊字山榴泥ツ

名榴花同似羊躑躅

あきつ

林節山榴 アキツジ

あーびアシニ

万二六 ~~あ~~のらふよあや馬酔木ををらめとさすへき

きうありといふあふよ俊頼卿よりつるを玉田様あのみ

那れ約つーしーまーまーあーみ花はく

あーみ同上

あせみ シキニ

和

夫おそるやあせみのこれ哉をうきて南よみい  
乃るゆりも藻九廿六

あたもろ

和英 栄く実のらるるをいふ

あき ウケヒスノキノミ

和鸚

俗云何字之智一云

名鸚

俗云アフシテ

台記

天養三年九月言

権大納言宗輔送鸚實云自和泉國所

尋取也其色紅大如砵石其体圓其核少有三食之甚  
美其味可焉其色妙其味美足賞翫礼記曰仲夏之月  
天子羞以含桃先薦寢注以鸚鳥所食故曰含桃今櫻

桃也

あらき

和栴 青皮李名之櫛

伊行

いとあくら サクラ

夫四 永曆九年七月清浦朝臣家歌合 さくら 法橋顯昭 めきも  
こゝもこ祿のやまのいとあくらあまひかきくら花をそみ

いとまれ

和傳榆皮 仁礼西也 伊礼又伊戸  
伊礼又伊信伊礼

いぬさくら サクラ

夫四 おりありあり比大成長実江のわさつらもーるら 後形  
山うけよアセきくらくら大あくら さいをあたきく  
川もあ

いーくら ツツラ

或云無患子 又石榴皮

五世 伊之久利 又 伊波久利 同五世

六 巨武良美 同五世

奈流豆布長

いもろり いもろり糸見工

いもろいもろい糸見工

いもろあき

近江御息所歌合 いもろあき いもろあきとれあきれあきの水の  
あやとそあやすれあき

いもろみ

藻世

いもろい糸見工

いづき うかセキ

大五三六以川支又宇分世支万三長りもろあき  
よあ枝もろあきのりもろあき

いもろい糸見工

伊字葛樹 タシハシカミホノキ 和傳

いもろい糸見工 タシハシカミコフシハシカミカハシカミ

伊太知椒又

いもろい糸見工 カリハシカミアハシカミ

本和上五十六 延山茶菓

和傳

いたちき カウハシカミ

和傳 吳茶菓 伊太知支 加良波志加美

いたひ

和傳 折傷木 伊太比 字同

いすのき 申す糸見工



いすき

運種 イスキ

字彙徒在功不名花可為布

いらひ ツルハニ

和以知比乃加佐 標球医橡實 以知比又云

和玉楸 ノイキイ

ナニ 字杞利ナニ 標同 枸同 藻ハ世五

待中群要 大呂表袴ノ系 表袴ニカク 衛府藏人行幸供奉本 陳之時寄者諸袴扱色

今伊治比腫巾色令分別之故子 此書古書ナリ侍中イニハラス 此伊治比トカニ治字濁 音ノ意ナラ書ニ似タリ

いちこ

和玉標

いちやう

類往銀杏

いちしは

一區ナモ 大原乃一のいちしはのろーうとまゆふ姉今宵

阿原のまゆ

いへん みれ糸見エ

いりたま サ名

和傳按石榴 以呂太末匝 佐久呂

いもくら

和傳杜荊須

宇行

うのまぬ

曾丹 二月始

山陰のうつき原のうきはる雷をそむよふ人

つみる 万七 三三 ぶちあみいさきよちりよき宇能波系ハ

いまそはうりこさ

うのま

本和

和

医

藻丸九

万三 甲 ぬまむのまよの補成たるとれてをくらさきり

毛りまひーとものを

うーらみ

大五 三十三 本 部

宇之加良味

同五 共 同

同 世 七

九

十 高

うけせう イツキ

大五<sup>世六</sup>部 宇介世支 又以都岐

うとき

大五<sup>世六</sup>部 宇度支

うはめのう

夫為家冬くれいをい〜はれ本光のす〜  
や〜い〜ん 藻九<sup>世八</sup>

うも

撮壤椅

和玉椅

藻九<sup>世八</sup>

和傳乾漆

うろしーのう

林節漆木

椅

うらひすのさる

藻九<sup>世五</sup>

うらひすのみウヒスノ

うらひすのみ め〜ち糸見エ

うらひす ち糸見エ

衣行

えのみ

和覆 衣乃木

和玉覆

字拾又林

藻九 芎

万十六 芒 吾門之覆實毛利啖百千鳥千鳥者雖未君曾  
不<sup>キ</sup>来<sup>リ</sup>屋<sup>ノ</sup>家<sup>ノ</sup>持<sup>リ</sup>集<sup>ル</sup> 且<sup>カ</sup>や<sup>ト</sup>のえ<sup>ノ</sup>き<sup>ツ</sup>き<sup>ノ</sup>木<sup>ツ</sup>き<sup>ト</sup>よ<sup>ツ</sup>つ<sup>ハ</sup>  
やらんま〜〜公<sup>ノ</sup>浅

えた

和枝條

於行

おろつめ

本和下共

大東於保奈都女

和傳全

おたら

和傳食菜菓

於保太良乃三

藻九世

おみのき

万三廿八長

こいらをこれオニキ巨木もおひつきまろり云々

おらのき

神武紀

おどろ

名棘オドロ

和玉荆

おちむ

詩古訓釋 オチバ落葉也

加行

か

字換

からたま

からたち

たまのはな

本和上

積實一名積殼

加良

和傳積實

加良太知乃和

又積殼

加良多知

和積榧

加良太知

玉篇云積以榧

榧而屈曲者

音縁和名

医諸方

積實

カヲミ

積殼

カラハチ

和玉榛

又積又榛

カヲチ

字積

カヲチ

藻丸

万六六 からたち のうらら 別々 倉た 人尿 とく され

梯作

からたちのわらき

加傳積實 加良本和乃和加支

からとも

本和下世 杏核 加良毛、和杏子 加良毛、和傳杏核人

加良 大五三 加良母、類往杏花 カラモ、藻九三

からあ ナイルフキ

和棕 奈以云 加良奈之、和玉奈又 棠又 梓 字棕

からは フナエ、カハニシカミサハクニ イタチキカリハノミ

本和上五六 吳茱萸、和吳茱萸

延山茱萸、本和上五六 山茱萸

から 和纂要云 大枝日幹 加良

か不りき

女遺方 沈香

か カハキ

か カハキ

か カハキ、藻九共、万九共、喜、そむいん時と六松板の葉えいよと

そむいん時と

か カハキ

本和上五土 柏子仁 加倍乃美、和傳柏實 比乃美又无呂乃支加加倍乃実

か カハキ

和鶏冠木 加倍天乃木、字鶏冠樹 加戸天、和玉楓 カエ

藻九十五、禁秘抄桃手木

万八五十一 我宿之黄髮 暇行 なる毎子妹 浅うらつて 立ぬ

いふ

かつら ヲカツラ

本和上 ユキニ 楓香脂 加都 和玉楓 又 椰 又 桂 ヲツ 藻九 世三

字 稽

万七五 向つ 畧の若楓の木 志つ 枝より 毛のいよ 歎つるもの

七

かつらのあみら カウラノヤ

医楓香脂 和傳楓香脂

藻九 世一

かつのき

万五十六

あー かりの目と とう山の加豆の木 の目とを あつさ

もかつき かきとも

かぢ カウツ

本和上 辛四 杵實 加知乃岐

キ穀 又 榑 同 著實 カチ木 弥

イウソ 聖楮 カチ 楊 カチ 穀 カチカ 撮環紙麻 カウソ 林節楮

乃支 藻九 世五

近江御息所歌合 かぢの木 ころろをこさり 糸子のかぢのこの花

とらさふよあそををちるる

和傳訶梨勒 一名訶子 加之 字音

か カシカシ

和檀 加之 字 碯 カシノ木 檀 同 白樹 同 和玉檀 又 橘



拾遺冬題云所人等 足曳の山海も志すて白かしの  
枝も<sup>（万葉集）</sup>雲の海に<sup>（万葉集）</sup>頭昭に拾遺抄にカシノ木ノ葉ニウ  
シノ白ク又木皮ノ色モ白ク<sup>（万葉集）</sup>シラカシ赤カシトテカシノ木ニフタツ  
アリトイフ此輩不審テ侍リシラカシアカシトハ木ヲ破テ見ルニ白ク  
赤キニテコソワカチ侍ル如何若木ノカコノ白キガヤカテ葉ノオモテ  
モ白キニヤ云々 万九十九上畧 かの実の獨りぬらんこころの  
ゆききりきり<sup>（万葉集）</sup>妹々おれしうらな

藻九 蒿 樽か  
か けき<sup>（万葉集）</sup>クヌキ ヤマカシハ  
本和上<sup>（万葉集）</sup>五 猪苓 加之波岐一名久岐 和傳同 和榊 加之波 柏同字  
首カシハ 和玉榊 カシハ 柏又 朴カシハ 本和下 五 楠若葉 加之波  
一名久岐 和傳榊若 久岐支カシハノキ 各豫。樟。烏樟

ノヌキ 和傳釣樟根皮 加之波乃支乃加波  
又之良久奴支  
万土土 けき<sup>（万葉集）</sup>柏さる川への篠のめの今<sup>（万葉集）</sup>の<sup>（万葉集）</sup>君さる

万九 大鷲鶴天皇云々三十年秋九月乙卯朔乙丑皇后  
遊行紀伊国到熊野岬取其處之御網葉而還云々書  
紀土主 同 古事紀太后為将豊樂而採御網栢幸行木  
国之間云々 秋日本記十二筑紫風土記曰寄採御津栢大  
神宮大同本紀神嘗祭以十七日直會云々 麻尾宮之采女  
二人御網栢 酒盛豆每人給  
相模家集 四月 かの山の<sup>（万葉集）</sup>はのくわとち<sup>（万葉集）</sup>を<sup>（万葉集）</sup>り<sup>（万葉集）</sup>た<sup>（万葉集）</sup>ふ<sup>（万葉集）</sup>  
る<sup>（万葉集）</sup>の<sup>（万葉集）</sup>さ<sup>（万葉集）</sup>か<sup>（万葉集）</sup>とも<sup>（万葉集）</sup>う<sup>（万葉集）</sup>た<sup>（万葉集）</sup>  
万四<sup>（万葉集）</sup> さらか<sup>（万葉集）</sup>もの<sup>（万葉集）</sup>き<sup>（万葉集）</sup>の<sup>（万葉集）</sup>つ<sup>（万葉集）</sup>さ<sup>（万葉集）</sup>の<sup>（万葉集）</sup>わ<sup>（万葉集）</sup>き<sup>（万葉集）</sup>め<sup>（万葉集）</sup>り<sup>（万葉集）</sup>を<sup>（万葉集）</sup>り<sup>（万葉集）</sup>

つもとくしー本はちかくれう

夫樟 々々

かーはくぬき

藻九世

かはみどり

本和上幸五 蕪合加波美 和傳蕪合香

かはやぶカハヤブノキ ヲヤナキ

かはやぶカハヤナキ のき

かはやき

字檀カハヤ 和玉同 藻九世檀かきあき 林節檀カハヤ

新韻同 医水楊葉加波也奈岐 又 和水楊加波夜 本和下二水

楊葉加波也奈岐 和傳白楊樹皮加波也奈支 乃加波又波

大五世部 加波也奈乃紀同幸ニキ加波也支 同世七十六 加

波也奈 同九十九 加波也奈支

万九五 蛙ふくむつ田の川地うもやきの流もろくれとあ

うぬきみりも

かはちさのき

本和下四 賣子木加波知 字賣子木 和賣子木加波知

和傳加和知佐乃支 藻九世

かはくしーのみ

本和上毛 秦林加波美 和傳 同 和呉菜萹

かはらまろ

和傳昨葉何草加波良末川 主年

かはくまつら

和傳衛矛 加波久末川良  
又由美加波

かはらみらのき カサイカチ  
カライチキ

本和<sub>下</sub>三 皂莢 加波良布  
知乃岐

和皂莢 加波良  
布知

和傳皂角 加和良  
布知又

佐伊加知<sub>西</sub>加良  
布知乃支

かば<sub>つ</sub>くら カニハ  
カバ

かば

かよば

林即樺櫻 カバサ  
クウ 和樺 加波又  
加仁波 和玉樺 カハ 和傳櫻桃 和加

七十番職人合 むら あまの い え あ ま い そ れ ど ら め の さ と り  
かいらむわりとそそおもいさうり  
判云元とらめの樺かハカ  
リとつげさるる而やすあ

かあき

大九十九 本世 加奈支

かよし<sub>さ</sub>くら ハニカ  
ニサクラ のみ

本和<sub>下</sub> 櫻桃 加波佐久良之美  
加波佐久良美  
加波<sub>下</sub> 加乃 和朱櫻 本尊云櫻加  
波加一名尔

波佐久良 和傳櫻桃 加波佐久良美  
美加尔波左久良乃美

近江御息女所歌合 かよば樺  
あ の くら の は さ と り そ ら い く  
ちる<sub>ま</sub>代<sub>ね</sub>と<sub>れ</sub>多<sub>む</sub>ひ<sub>る</sub>る

かじ<sub>し</sub>うし

大五十二 七三 加無波加波

かじ<sub>し</sub>カウシ

本和<sub>下</sub> 三 棋子 加年 字耳橋 和棋子 加無 類往<sub>棋</sub> ウカ

和玉<sub>棋</sub> ルカウ 帝王編年記神龜二年乙丑賣<sub>棋</sub>子<sub>從</sub>

唐國未<sub>殖</sub>種<sub>結</sub>子

かみち

本和下 世二

栲縁

加布知

和栲縁

加布智

江次茅九 世三

大五世

加布知之美 同世九 十九

加布智

かふのき

ネフリキ

大五世

加布加乃支

ミネフリキ

藻九 世六

かろ

かじり糸見エ

かろりつらじ

本和下 世六

覆盆

加字布利 以知古

かきネリカキ

本和下 世十

柿加岐

和柿

和玉柿 又

稗カキ

藻九 世七 柿

拾遺 名

物流りかき

古いおとせりーの流ぬれいともか

かき

字穂

きぬの今いりア

かたすみ

字槐 又 榎 又 観

かき

林節 榎木

かげ

和玉楸

かくのこのみ

万六世 長

田道向守とこよまわらう夜任作もちあま

こしとまきとまきの考久の菓子手かこまのこ

日本紙名云此木をたきて  
改遣火子用ふ

たき一れ云

かりはのみ

イタナハシカニ

五六

山菜更

以多知波之加美  
一名加利波乃美

櫨

加也乃實  
亦榲子

和玉櫨

又榲

カヤカヤ

かい

字榲

かし

字櫨

かよ

和傳突厥白

加止保根如白  
色花如牽牛

幾行

きはた

本和上五

藤木

岐波多

名藤

キタ

和玉藤

同

和藤

岐波

和傳藤木

キワタ

伊字黃藤

同

字黃藤

大五

木部

支

波多同世七

古

紀波太美藻九世

きはらす

和藤

木波知須

大

支波知寸乃美

和傳

胡蘆巴

支波

きりのさ

本和下

字桐葉

岐利乃岐

字桐

和梧桐

木里

和傳

胡桐涙

支利乃支

又桐葉

支利乃波

きかは

タナハナノカハ  
キチヒ

子

和傳

たよりれ

かりはのみ イタナハシカミ

本和上五六 山菜更 以多知波之加美 一名加利波乃美

かや 和傳橄欖 加也乃實 亦榧子 和玉榧 又榧 カヤカヤ

かい 字榧

かし 字枸

かよ 和傳突厥白 加止保根如白 色花如牽牛

かよ

和傳突厥白 加止保根如白 色花如牽牛

幾行

きはた

本和上五 藜木 岐波多 名藜 和玉藜 同 和藜 岐波

和傳藜木 キワタ 伊字黄藜 同 字黄藜 大五世 支

波多同世七 古 紀波太美 藻九世

きはらす

和薺 木波知須 大 支波知寸乃美 和傳 胡蘆巴 支波

日本木 華用之

きりのさ

本和下 字桐葉 岐利乃岐 字桐 和梧桐 木里 和傳

胡桐淚 支利乃支 又桐葉 支利乃

さかば タナハナノカハ キチヒ

子

和甘皮岐加 又橘皮木加波又夕十 大西四 支加波伊字  
橘皮キカハ 又耳草同一名橘皮 其色黄莖也

和傳槐實 支不知乃美又惠公之由乃美四 少夜遺方岐  
布知根

字黄芬 和玉椽キサ  
拾遺物キサの木 いうらの石とくくしてかみういさの木は  
こそおとらりれ也 同キサの木のしこもとりよとらりれ  
よの海を流ハ法の本の葉このれそとらり

久行

和玉椽 又榭 又柵 又樟 藻九七

万立世二 法令の大河ののめくぬきつら之子あれは妹  
まんじゆ

本和上五七 枝子 久知奈之 和梔子久知 字枳 又梔 又榛 又

支子 林節 梔子 和玉 同 藻九十五

本和上五六 和桑 久波 新韻 柞多 和玉桑 又

柞多 藻九廿 万七世 ねらちぬの母 國多 素きつ 形世 いきぬきつ

とりの浅

くはのかま クハノキノネノカ、  
クハノネノカハ

くはのきのた カハノネノカハ

くはのきのた カハノネノカハ

本和上 カハノネノ 栗根白皮 加波乃 伊字栗根白皮 カハノネノ

和傳栗根白皮 久波乃支乃祢乃加波 又柘木

くはのみ

本和上 カハノネノ 赤鷄栗 久波乃美 和玉甚 又 甚 クハノネノ 新韻甚

くはのた 草部見

くはのほや 同上

くはのき

本和上 カハノネノ 楠材 久波乃岐 和玉梗 又 柘 又 櫛 又 棹 クスノキ

字 榊 又 樟 又 榎 又 柘 又 櫛 又 棹 又 櫛 又 棹 藻九廿五

くはのきのた

和傳龍腦香 久波乃支乃 大立 久波乃支乃 久波也尔

くはのき

本和上 カハノネノ 栗 久波乃支乃 櫻子 久波乃支乃 掩子 久波乃支乃 和兼名苑云栗一名櫻子利

雀島錫食経云 枕子一名鷄栗 久波乃支乃 秋本紀十五 私記曰

師説云 大栗為美加久利和玉栗 久波乃支乃 字栗又栗

藻九十七

万共 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃

くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃

くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃 くりもめ 久波乃支乃

くりのばな



和傳棘刺花久利乃波奈

くりのいり

和神異經云北方有有栗徑三尺二寸刺長一尺栗刺俗云久利乃以  
加文選蜀都賦云榛栗罅罅音亞及罅 罅罅音亞及罅 罅罅音亞及罅 罅罅音亞及罅  
皮垢罅而發也

くりのいり

和本草云栗扶和名久利乃之不令  
栗其味波之義

和玉櫛和名久利乃之不令

名同延大膳式備中國宮内式 諸成医甘蔗

和玉櫛藻九廿八

くまのきタカハシカニ

大五八 久美波自加美 一名 多加波自加美

くまのき

和玉櫛

くまのき

本和下世 胡桃久苗 名薔鳥ムキ 和胡桃 字栲

又占斯

くまのき

和黒柳

くまのき

笠懸記 永正九年記傳の木の事よ 木くまのき 木くまのき 木くまのき

くまのき

和傳木蘭クロモシ

くらき

少彦遺方久呂木 榭欵

くらかき

和傳桿柿 久之加支

くろこ

和枸杞 字同 和玉枸

くろき

和莖 中木枝之末也

くらりみ

大五世 久奈利美

くらき

七上番職人歌合 笈士 九同 大井川あり水よつるいづの

くらきとよる月のさやけき 右意をす國や名木のこのく  
水をかきおれとさきを向くといはしりと我をすれ

和玉樽

くらきおののらめ

相模集 あきつりのり いれり き 榭より いき こら いら らめ

香 まと るれ くれ あめ らめ ユハ サ ト カ ク ヨ メ モ ウ ラ シ

くらき カハク ツツ ラ

本和六 衛希 加波久未都 良一名 和衛 久曾未由 美一名 加

油久未 豆良 字杜仲 波比万由美又云 和傳衛 牙

くらき

延泰榭

くらき

和傳紫葳 久末利  
未加也又 良又云 字攝

くまのり  
字攝

くまりのき

和玉櫛

くまのき

和櫛 クサキ 藻九世

計行

けやき

林節櫛

けしのき

和傳枳椇 チムキ 伊字椇 ケム

今云ケニホナシ古名ケムルヘリ  
肥後人ケニホノ梨トソリ

けり

和玉櫛

万七世 けりきやーとまの毛桃 りーりー花の園てあ  
らさめやも

古行

こぶーはーうみ コブシヤマアラキ

こぶー

和辛夷其子可嗽之 夜赤阿良之支一云 名辛夷 コフシ

和傳辛夷 コフシ西ヤマアラキ 伊字 同本和上 五音 辛夷

也米阿良 字辛夷 出蘭衫如桃子小時又云此 夫こぶー

藻九廿六 辛夷木うちくそくそくをみきりくる所の木をせ

きをあらく比うか 又世 辛夷を中河きき一医秦椒 加波

加美又古布 和傳 同本和上 五七 秦椒 加波

之波之加波 續詞花附ーあはこぶーの花もむけり君々みきれ

のあもきれか

こぶーへ しの茶見エ

こくは クハノ串

伊字猕猴桃 コクハシラクチ、 菖同 林節猕猴桃 コクハハヤ

こくあらのき

和金漆樹 許師阿夫 良乃紀

こす急

和楯 古須惠

こむら

和櫛 古無良

こはた

和樸 古波太木皮

こめく

夫 木部 為家 あきふのき、山の夕きりこめくよおのれ

ちあやまのうもろん 藻九廿九

こがめ

和傳木鱉子 己加女

こゑつるまのたのた

和傳耳露藤 己惠太苗 不知乃祢

こみ

林節櫛 玉篇古玩切木叢生也 シゲル

こすき

和玉杓

こがめつら

和傳金樓子

こかのき

字覆

このきかいは テガシハ

万共九 あし山の光手柏の面よかきもろくもはちけ

人の友 相模集 名根枝現よまけり哥の中より早夏やうらま

我氏神を祈るに あてかいはのふしてたきき 名根の

祈よ てかいはまじつてをきくそとく人の祈りそと

こますい

字吳茱萸

佐行

ささけり

くまの糸

さかき

本和五

龍眼一名益智

蘇敬云此非龍眼也 和名佐加支乃美

和 平 佐 加

木和傳龍眼 乃美 佐加支

伊字同

和龍眼木楊氏漢語抄云龍

眼木

佐加支今葉龍眼者 其子名也具見本草

日本紀私記云坂樹刺立以為糸

神之木

今案本朝式云用賢木三 字漢語抄用神字不詳

字杜又神 又龍眼 藻

九葉

同世一

万三長

真山のささきの枝よ云々

さかりのちこ

和傳覆盆子

佐加利伊知已西 加字布利以知古

ささけり

医安石榴

佐久呂

類往石榴

サノロ

七十一番職人歌合か〜みとぎ<sup>三十三番</sup>水うのやまのりもり  
かろる水やかみと見ゆる月のおもてい<sup>か</sup>今ふさふさるる河  
りむう〜ハ信の用またちや  
今い〜てうりちり

さくらぎ

和栂 佐久木

木可為笏也

さくらら イヌサクラ

和櫻 佐久良

和玉捨 又 櫻 藻九十

万三<sup>十六</sup>長 あゆりつ〜天之若来山うす〜春よけれは風子  
池あ〜たちて楊を木晚茂尔〜夫四叶の事河り〜  
大式長実のゆ〜つ〜後れ〜つけ〜  
むつる大〜をひ〜

おあひく〜さ〜れい〜

さくあひさ トヒラキ

和石楠草

止北良乃木俗云 佐久奈元伍

拾遺 物名

さくあひさ 如差法師

むらさきのいろ〜あひさ〜の〜  
志れ 顯昭拾遺抄ノ注ニ是ハサリナニサヲカクセリ石楠草ニ未  
也草ト書タルヨリテクサト云ハ僻変也サレハ哥三トニラノ木トヨリ和言  
ニトラ木ト訓セリ 檜葉ヤウニ花赤クサネニ信友梅ニ今川邊宿  
この海岸は多くトラ木と里庭前を〜  
サクキよ似〜あ〜実をひ〜  
い〜先よ〜ト〜木〜  
哉桂あ〜〜サク〜と〜似〜柳〜

さ梅ら

林節 弱檜 サハラ

イタナハシカニ

和傳 山菜萁

さうゆ

医木香 佐字 毛久 和傳 木香 佐字 毛久

さしゆ

和麥 桃 支秀時熟故以名之 字 橙

乃佐祿 和字 倍

和傳 郁李仁 佐

さゆりのき

和傳 鼠 字 佐毛 武毛 乃岐

さゆ

和核 又人

さゆり サツメ

和傳 酸 束 匹佐祿 不止 伊字 同

さゆりのき

万十 あふ山のき 乃岐のき 乃岐のき 乃岐のき 乃岐のき

乃岐のき 乃岐のき 乃岐のき

さゆりのき

和鳥 草樹 字同 サシ

倭姫 世紀 紀

させ

字 也

さい かつ

和傳 皂角 佐伊加知又 加和良布知 撮 壤集皂角 ササ 和玉棟



さきりば

大五世一  
ホア

差支利波

志

志行

本和上 四十四

志の流

万

大廿六 之乃祿

志はーうみ カハハシカミ・イタチハシカミ・

字秦椒

志ろつー

イハツシ条

志ろつー

万三鬼 かきまやのまのまのの白管み

志ろつー

あらしぬき ナクニ又キ  
ナクニ又キ

本和下二 翠樹皮 之良久奴岐

伊字翠樹皮又鳥樟 ナクニ又キ  
ナクニ又キ

加之和支 藻九世 あみくぬき

あらしぐら

本和下三 猴復桃 之良久知 和

和傳猴桃 之良久美匝

あらしか か

あらしぬき

和玉樟

あらしみ シキニノキ

あらしみのき

和傳翠樹皮 之良久奴岐  
良美之奴岐

和傳釣樟根皮 之良久  
奴支又

医

本和下一 莽草 名莽

和玉檜 シキヒノハ 和傳莽草 之岐美乃岐

万世畜 真山のあらしみかむの名のことやあらし あらし

わらしあらし 藻 名根好た けし 今本ナシ或人云方輿集

あらし カハヤナキ  
ヤナキ

あらし カハヤナキ  
ヤナキ

本和下三 柳華 之多利也 和

伊字柳 小楊

大五世 之多利也支万十九 百歳のたしや人のかたしけるあ

あらし あらし

あらしのき

伊勢集はあをいそち あらし



さかとりのかき

さかしの木

大五郎

さかちり

矢枝保智藻九世

さかば

万四十七 大五郎のこめりさかちりさかちりさかちり

めりさかちり 藻九世

さかちり

和傳木瓜 ツノホケ 日本不及流布是和名注之  
シモトニ 紅色花薄云々 西毛介

さかちり

伊字楸 シヤクキ 木名可以為笏也

さかちり

字石南草

さかちり スロ 重出

和榎桐 種魯 本和下 五 榎桐木 漢名 伊字榎桐 スロ ケカマ

和傳榎桐子 之字魯 和玉榎 シヤ 榎同 桐同

須行

すきまつめ サネフト・ナナ まつめ糸

和傳酸枣 ツギナ 伊字同

すまのうき

本和 鼠李 須毛 同下世

須毛 字同 和傳 同 伊字 同

万丸 コトクノ すまの すまの の むく 子 ち の の ち の の の の の の

り の の を 古今物名 今いくら者 い くら 者 い くら 者 い くら 者 い くら 者

うめ く ぼり あ づ め くれ

すまのうき ホコスキ

本和 下ニ 杉材 須支 和傳 同 和 字粉 ス木 栢 又 栢 又

梲 又 槐 又 櫛 又 櫛 又 和玉 栢 栢 又 栢 又 栢 又

世五

万二苗 みゆらのここのかゝ瀬疑云一画三六りのまよ  
かみまひけらうか久山の銚チヨ楹キョウのゆふをむすやそよ  
すらのき 一ちろ糸

和藤枋

すゐは

和五楨

すろき

和傳秦萩藜 須宇支

すいぬ

伊字桜子 ハヒサ 見本草草部抄

世行

せんたよのき  
伊勢集 夢祝神を家よりぬれしとてそそぬ水 瀬  
たふふ

曾行

そはのさ

和楓 曾波の木 枕

藻九共

江次第 卯枝糸

蛤蜻日記 下中 六月より云々 丈夫といのりみちのち

里々々 枝りつとぬいのところは

そあぬまろ 中糸

太行

たうほーらみ くみとるこ糸

たちほーかみ いたちほーらみ糸

たちほ

本和上 五 橘柚 和橘 伊字橙 八々々 八十

出七養 和傳橘柚 医 和聖橙 又橘 夕々々 十 似神小

藻九十三 大世三 四六 多知乃加波 橘皮 又キ

万二十六 橘のえらふはあ やちやうまおをそおのふらまら

本 同三 三 橘をせふらぬりーはちてあのみや

とも 同 一 一 はんやも 同 四 六 ぼくき げあく けりま 一 あやめ

くはむ 橘をたすふぬき 同 十七 多知婆奈ハとこもみちり

あともき げあく とき びき ぬらぬら 同 土 ぼくき げ

あまの情を多知むのよめく月きつとむ

たちあゆ

伊字楯

たらのき ヒメツツキ

本和上 五十一 女貞

藻九世

伊字女貞 ヒメツツキニハツコキ

たつのきのみ

和傳 牡荆 太都乃支乃秀

たに トネリコキ・タムノキ・タモノキ

本和上 五十七 秦皮 岐年

和石檀 止祐利古乃木

和傳 秦皮 子

伊字 同 名石檀 トネリコノキ云

大世六十 止

たまりはき ツツキ

林節 玉椿

たまり

大五世 本訖 多万加波 一名 加良多万

たら

和桜 太良小木叢生

伊字桜 ワカ 餅茨 同 和玉櫛 又桜又

柞

たむや モチヤナキ

大五世 六 多保也 奈支 又 メシヤナキ

たむのき

大五世 十 多衣乃紀

たむ シ

良多 二百三十九



ちよの情を多知むのよめく月さびとむ  
たちかゆ

伊字楢

たつのみき ヒメツバキ

本和上 五十二 女貞

藻九世

伊字女貞 ヒメツバキ

たつのきのみ

和傳 杜荊 支乃秀

たつ トネリコノキ

本和 五七 秦皮 岐年

和石檀 止祐利古乃木

伊字 同名石檀 トネリコノキ

和傳 秦皮 止

たすのぼき ツバキ

林節 玉椿

たすのし

大五世 加波 一万加波 一名 加良多万

たす

和桜 太良小木叢生

伊字桜 タラ 餅茨 同 和玉櫛 又

柞

たす ヤナキ

大五世 多保也 奈支 又 メシヤナキ

たすのき

大五世 多衣乃紀

たす シ

加良多 二百三十五

伊字駁羽

知行

ちやのを

和傳茗苦椹茗 千ヤノハ

ち

下畧 万九長 ちの實の父のこころいをもろもろの母乃とて

都行

つみき

新韻 榎 <sup>ツミキ</sup>

薪 蒺藜

つと

<sup>ニツミ</sup>  
<sup>ツカウ</sup>

伊字 躑躅 <sup>ツ</sup>

山石榴

杜鵑花

本和 下四

字 槃

万三四元

かさまやのいふのいふの白管 仕くれもさい  
るき人ありん 同註 とのつき 菌花 <sup>ツミ</sup> むらさきみ

うき

つたのき

大五十四

川加田乃支

つら

大五三 都加流

つかのき

万一長 榎木のつやつきくふく同廿八つてまいたてら  
榎木のこまの枝同廿九つてまいたてら都賀の樹の  
つやつきくふく同十七 四十二 かきうそふかこみやふ  
かひさひくたてら都我能奇もともえもおやとまらハ  
よらきよらら

つまつ

万十九三 つそのう一の都萬麻をえれ根をまらと  
うらうらら 都萬麻 樹名より  
つまつ 万十四四 とみち染の白ひハ

もろこし

本和四 榎木葉 榎木  
和椿 豆波木 和傳椿木 一名 榎木字椿又 椿  
天武紀

万一廿四 せ山の列に椿つりまらりあふこそのも  
那うを 同廿六 吾せあ浅をやこも海にせやまらる吾松椿  
、やつららあゆの

和李桃 都波木 林節椿桃 十訓抄 三六 陽院の正祝

所及の東向の車馬は大方つらりの木は徳寺に大  
に系もはらる云々此木はさくらかと向を流らるららら  
四十一

ニヤリともイリ〜〜〜〜〜の木の葉をみとヤリ〜〜〜

つらみのみ

本和下 椽実 和傳椽実 川苗波美 匝都苗波美 乃美又トシクリ

和玉椽 ツルハミ 藻九世 大西 四 川流波美

万七世 椽のさぬきさく〜〜〜とれ〜〜〜付さき〜〜〜

之月ゆ 和椽 波美 標實也

つらみ

大五 早 都美紀 柘カ可考 聖 楯 又 楯 ツミ 和柘豆美

万三 光 万のくはるは柘之さ枝のふれこびやふら〜〜〜

〜〜〜のせん同光い〜〜〜やふれ〜〜〜のふりりせま〜〜〜

何〜〜〜柘之枝りも 仁明紀 懐風藻

つけ

和黃楊 豆介 和傳黃柳 川計 字黃楊 ツゲ 和玉梓 又 槻

藻九 五

つらのき

和 字 櫨 ツキ 伊字 槻 ツキノ木也 和玉 槻

藻九 三

七上 番 職 人 合 浜 くら〜 右 同 くら ね〜〜〜い〜〜〜はき

のきの 月のうらぬを〜〜〜い〜〜〜 万二 長

又土 施 頭 いて〜〜〜ちの〜〜〜えつきのみ木〜〜〜ま〜〜〜せ

云々 家持 家集 昔 宿のえのきつ〜〜〜ま〜〜〜ま〜〜〜つ〜〜〜い

ま〜〜〜く〜〜〜はを

つららみ

ワケラミ

つちのりこ

和傳蓬萊川知伊知己

ア

字櫻

つみ

和柘都美香糸具糸

天行

つ加ハコノテカエハ

大五世 天加之波乃美カハ一名

てらのつとみ

和玉枝

このてりも 下相模集十九哥詞  
考合スハシ

止行

と総りこのき

たひきん存

と総りのき

同上

和玉柁ト子

字秦皮トネリユ

藻九世

とち

和杼

止知

大五部

止知乃美又度知乃美之又世七十六止

智久留味

免共

又世五四止知久美又七十五七十三了運杼

又椽トナ字椽

和玉茅又杼又椽又柁トナ藻九世

とちから

和玉柁又梗

とんぐり

林節團栗トシク

家徑初は乃和家四序小團栗と書る

とつみ トヘスミ

大五三八 度倍川加波 六十五 三七 止須美

とつみ トヘスミ

大五世九 止布須美

とつた トヘスミ

林節燈臺草 トウライ

とつきのき

藻九廿八 櫟

万六十八 の枝さ 志よ生るる かの本の 乃つき 子

とら トヘスミ

字菌茹

とら トヘスミ

後拾遺往生傳 三善為 鳥禱

といら トヘスミ サクナムサ

字石南草 藻九世

とら

和傳石南 止扁良 止比良及岐



奈行

あつめ ナツメ・ヲナツメ・  
スキナツメ・サネフト

伊字棗 メナツ 名菓 メナツ 又 蕨 シナツメ 本和下 五

大世 世 差祢布止 和棗 本和下 五 生菓

字柄 又 棟 藻丸 世九

万十六 六 五 五 坊 坊 三 三 源 源 三 三 宮 宮 の 木 木 と 考 考 ら ぬ ぬ と 枝 枝 か ぎ

信友 信友 云 云 舟 舟 波 波 の 國 國 人 人 ナ ナ ヲ ヲ ウ メ ト ト シ

あつめ ヤミ

伊字檜 ヤミ

あつめ ヤミ

九槐記 殿上の少屋より夏はの木の葉をちん梅くかけら

ちひさくして并たぬくぬ木の枝さうりくそうけあえ

かんけいなるなつたがと人伝はる付はそ木よんる

あつぬき ちとぬき茶

あつぬき 目

あつぬき 目

あつぬき 目

本和下 梨 和玉梨又檀又棠藻九三

林節磐梨イハナシ 和訓栞 アノ部ニ鹿梨ニサレト氏云梨ヲ

無しノ義トスルヨリ又語ニ山家集云花のとりか 信乃甲斐梨の 又休和者有無字

梨ハツまれともありのことと由 信乃甲斐梨の 又休和者有無字

の有り 信乃甲斐梨の 又休和者有無字

ハナシ 字梨又榛村 相摸集さかり追くららる可浅

さる人の中よやるとせねきか 一つ内もろる可浅

今代ありのこと人いふらん返 信乃甲斐梨の 又休和者有無字

信乃甲斐梨の 又休和者有無字

法文聖教のあまもの信あるはるをのあむれとやうと

とのうととあり事ハナシ 奄羅とりふ (本にれとみみ

をむきふことわく 奄羅とりふ (本にれとみみ

ちたの白ひいふり 奄羅とりふ (本にれとみみ

さん夢窓國師集花梨のありとるをる春の言をてはる

りてはるををねる将軍 (信乃甲斐梨の 又休和者有無字

社之いしは信乃甲斐梨の 又休和者有無字

林節 柳 ナキ 栂同 和玉被 ナキ 運梳 ナキ

ない ナナ五ナ五 ナカラナシ

本和<sup>下</sup>世捺 伊字捺

あま元のきりこら

和<sup>本</sup>刺子

あらーは

万<sup>上</sup>世<sup>三</sup>のかりする物陽のあけのぼるれつろくす良  
くそまきれ

あら

和<sup>本</sup>楯

和<sup>本</sup>楯

藻<sup>九</sup>世<sup>三</sup>

字<sup>本</sup>楯<sup>ナラフ</sup> 推又<sup>本</sup>柞又<sup>本</sup>櫛<sup>月</sup>

あらかーは

胃<sup>丹</sup>集

胃<sup>初</sup>

林とる卯月よりぬ<sup>集</sup>

折山のあふのはり

ゆきも<sup>卯</sup>集<sup>集</sup> 夏<sup>多</sup>後<sup>後</sup>宿<sup>宿</sup>遠<sup>遠</sup> 同<sup>上</sup>月<sup>中</sup> ち<sup>子</sup>振<sup>振</sup>折<sup>折</sup>ふ<sup>ふ</sup>山<sup>山</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>  
葉<sup>葉</sup>を<sup>を</sup>香<sup>香</sup>滑<sup>滑</sup>く<sup>く</sup>折<sup>折</sup>山<sup>山</sup>人<sup>人</sup> 此<sup>此</sup>哥<sup>哥</sup>彩<sup>彩</sup>歌<sup>歌</sup>集<sup>集</sup>

あろはーうみ フナハシカニ

和<sup>本</sup>蜀<sup>波</sup>椒

和<sup>本</sup>傳<sup>同</sup>

大<sup>五</sup>世<sup>四</sup>

奈<sup>豆</sup>苗<sup>世</sup>波<sup>三</sup>自<sup>三</sup>加<sup>三</sup>美

和<sup>本</sup>玉<sup>椒</sup>

あろつふら

リー<sup>リ</sup>ネ

あを<sup>あ</sup>み

大<sup>五</sup>世<sup>五</sup> 奈<sup>奈</sup>母<sup>母</sup>布<sup>布</sup>美

あみ

新<sup>新</sup>韻<sup>韻</sup>棠<sup>棠</sup>軒<sup>軒</sup>に

あこ

和<sup>和</sup>心<sup>心</sup>くし

仁行

にフーツカッシ

フー系詳シ

にフーツカッシ  
万六世母フーのふももん時のほくふをれまきんけい  
にふまら

和朱櫻 波、加三近波佐久良

近江御息所哥合よはまを あまことよまけく宿のうまき  
むちのちまのいひもあぬかえん 新六 先後ありまきんけい  
乃宿の庭まきふららひぬと誰よつらゆの  
にまことこまヤツヨキ

運接骨木 ユハトコ

にれヤニレ

大五世六

逆礼乃美和傳榆皮

仁礼四也  
又伊倍礼  
四十九

字榆ニレ

和

玉粉ニシ 榆同 唐唐云和名神如ニシラ考合

十訓六ニ園北榆の上ニ榎高を飲とす云々

にうやき

大五世七 迹加也支

にきりのみ

大五世八 迹支利乃美同八十七 兎同

奴行

ぬみろくろ 又ニクスリ

ぬみろくろ

本和

医 枸杞

和傳

和傳 枸杞

ぬろで

林節 白膠木 勝單木也護 和玉標 又ルテ

ぬで

和標 沼天

ぬりてのき

字標 又リテ

祢行

祢ふのき

子ムノキ  
子フリキ

撮環合昏子松和玉椿仔フ掖同

本和上

五十四

合歡木

祢布  
利乃

岐字槿仔フ掖同 合歡木同

万八世 むろはさき ろくご ひめ 合歡木花君のこじん  
やゆけ さき ん く 又昔姉子 う み の合歡木 い ま の い ふ  
はき て け く も み ま ら ぬ も 藻塩草山 あ の こ ろ ろ ろ 祢  
と名 げ え く か の 木 う い ん あ ん

祢むのき

祢ふりのき

共見上

祢す こ り ち の き ネ ス モ チ

和棟 祢須三毛  
知乃木

和玉棟

林節鼠梓

子スモチ

五十一

伊勢集 祐をとりしの紅紫よきそらんやうげら  
藻九廿九

乃行  
のろのき ヒカハ  
和傳栢子 乃呂乃支

波行

ほろのみ

和傳櫻桃 加和佐久良 加波加乃美

ほろをユス

和柞 由之漢語抄云 和玉柞 ハウメ 藻九十六

万九十六 山一れのいもこのをのちを果さつや君う山は

やらん 字植又樹

はたす

万四甲 あやまきさきるはたす久方の角あやま

うろろいぬかの 同其 ねをせりひて 木の葉は

たすいりのうろろいぬかの あやまきさきるもか花

木蓮花 る年一詳説別あり



はいの木

字樟又楮

はいのみ

ひきき余見エ

はいまゆい

クリマユミ

字杜仲

波比万由美又  
云麻万由美

名莖

ハヒマユミ  
ユケノシヘ

はり

万七三

住の江の遠里小野のまげりりててねる衣のはり

とすきあく

はるあらし

サ藻九孟

はるあらし

は

はなさくら

和傳椿英

波奈支  
川波支

医千椿木紛種

椿和名津波幾  
今業波之是也

藻九

十六

近江御息所歌合

花栴 ちのくらちの山川は春のあふとも

ちのらのの雪うそそんら

華木を題してかよは栴大栴の花は  
栴ナトワカサクレハ花栴也種ニトク合ユ

はらりのき

和玉松

はたつとり

サ藻九七 令法

はや

万三番

みゆきあふきの栴よふりあひいあふきとらふい

は

和傳榛子波之美 和玉榛 又 櫛字 榛

はーうみ

和玉椒

はまうみ

本和下

蔓荊子波比

はまうみ

延蔓荊子

はな ハコキ

はな ハコキ

本和下

白楊樹皮也嘉岐一名

伊字白楊樹ハコキ

はな

和黃櫛木

波迹之

比行

ひヒキ

和檜比本比乃木

字檜ヒキ

和玉杼又

檜七

藻九世一

ひカノミ

本和

栢實比乃

医栢子仁比乃

延同

和傳同又先呂乃支

加加倍乃美

伊字栢實子人カノミ

ひヒラキ

ひヒラキ

字巴戟天比良木

和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

本和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

和ヒラキ

櫛同

櫛同

藻九世一

又世一

儀式 青外枝糸 比良木 統紀二 大宝言 造宮職献杠谷樹長  
分尋俗曰比、良木 同四月 秦忌木廣庭献杠谷樹八尋梓  
根古事記景行比、羅木之八尋牙播磨風土記比、良  
木八尋梓根土佐日記 元日 ありーの改りくらさ

ひと  
本和下世枇杷 和枇杷 比波 字杷和 和傳枇杷 已不  
又云比巴 西比波 十訓一志

ひもた ヒノハタ

大 比波多 又比乃波多

ひかきめ ヒツハキ・タツキ

和傳女貞 比加支 加美也都古岐 和女貞  
太都乃岐乃美

女頑 <sup>ヒキツ</sup> 字女貞實 伊字冬青 <sup>ヒツク</sup> 故以名

ひめつもき 見上

ひさかき <sup>ヒサキ</sup> 二物あり

和楸 <sup>比佐木</sup> 和玉楸 又 桧 枳 又 桧 又 福 <sup>ヒサ</sup> 和傳楸木

万土世八浪名よりいもろし 毎の屋名木ひさしりくもよらます  
一して 相模集 長哥 暮 びさきしりくもろらたひさき  
のしひよりちけいこれそくくら

ひざくら

近江御息所哥合 大橋のそ ありさみまの山屋まけしりくらり

ともみえぬを穢のもの

いささくら

本和上五八無夷 比岐佐久良一  
名也

和傳蕪夷 同 字辛夷

名殿唐ヒナサ 藻九世

和蕪夷一名殿唐比久木

良

ひめくらみ

式殿 姫胡桃 ヒノリ

不行

ふぢり

万三 友原のむい 藤原のむい 藤原のむい 藤原のむい 藤原のむい

ふぢり

本和下一 黄環布 知加 都良

ふふ

和玉樽

ふふ江

本和下 世 棕 布 奈江

ふさばし かみ

本和下 蜀椒 布佐波之 加美 和傳 同 伊字蜀椒 巴椒 大椒 サフ

ハシ  
カミ

保行

まろかーは ホウノキ  
アツホイ

ほろのき

字厚朴

本和下

医

和厚

朴

延厚朴 カハノ

和傳厚朴

保字乃加波  
加之波乃岐 保て

和三朴 又樸  
味抄

ほよ

万六世 足曳の山の本ぬれのほよとりてかきしるす

とせほろのき

ほや ヤトリキ

和寄生

夜止里木  
一名保夜

藻九世

ほろのき

延蔓荆子 ホソキ  
字椒又蔓椒

本和 ニ 蔓栴

保曾岐一名伊太知波之加美

和傳 同

ほこすき スキ

万三十一 万の月も神まひけり 吾久山の降ホコスキ櫻のうねよこ  
ルむをまてふ

末行

あ

万三十一 いもやふとそる 松樹 マツノキ 名をいひりーの念をあひ

万のうら 和松 万豆 聖松 ヲ 藻九世

まののみ 万十七 花 花

伊字五粒松 マツ

まのほと ホト

本和 保止 茯苓 未都 名茯苓 ホト 和玉苓 マツ 藻九世

和傳 茯苓 ホト 末川乃保也 西末川保止

あやま

本和 末都 也 松脂 末都 也 伊字同 和玉柄

あの一

和松諾

伊字同

まのほや

和傳

まのこけ

和傳松羅 赤川乃己計 伊字松羅 赤川乃己計又 名松羅  
スツノコケニ云サカ  
リコケ、サルヲカセ 古羅同

まののり

大万川乃母返

松茂校カ

まかりこ

伊字櫻

まかりほのみ

和傳山菜更 未加利 波乃三

まかやき

和傳紫葳 久赤川、良又云 未加也支

まゆみ

和檀 万由三 大 万由民岐 又 赤由美和玉檀 又 檟 三マユ

藻九十六

万七世二 みれ洞の油川山よりまゆみゆつるまゆみゆつる

まらゆか

まゆこのころのから

和傳和仲 未由美乃支乃加和 西波比赤由美

まのやくムクレシ

和傳薬荆 未女不久又云 ムクレシ

まき

和披 赤岐 和玉模 マキ 字模 又 榭 又 楢 マ 藻 九 干  
万三 四八 ころといきけと 奥 マ 木の 葉 や 志 け り け り さん 云

まゝたひのほあきは

和傳 尖 藪 ホ 太 比 乃  
佐奈 支 波

まゝ

伊字岐 マ 夕

美行

みゝや

和傳 五 倍子 美 不

みつあけ

かゝは 糸

みつ

和玉 楳

みつ の のき

字 核

みつ

近江 御 息 所 哥 合

まゝのむ君 哉 けり けり けり けり けり けり けり けり けり けり

まゝのき げり けり けり けり けり けり けり けり けり けり

みかろり

くまの 糸



みやつこぎ ヒメツギ

字女貞實 比女豆波木 又造木

本和

女貞 美也都 古岐

散木集者 とてい免とむ板松のこやつこぎ我と先よみ

伊字接骨木 冬青 三ツツギ 糸

和名美夜 都古木

和傳同 美也川 已支 匝

みやま きみ

林節 深山檜實

みちのき

和玉環

みんり

藻九世

武行

ひろのき

和檉

和傳柏實 比乃美 又无呂乃 支 廻 加倍乃美

和玉檉 又 楠

船夫粉

藻九世

万三三 五姉子うらうらとものこら 天木香樹ハとこより  
あれとん ひととあき 同 五三 とものこら の磯のしらの木  
うんごまほい 姉をまね えめやも又磯のうら根  
もふ室木 一人をいうらうらとほ かつらうら 同 五七  
はあれそまに ぬら半漏能木 うらうらとま せきとま せ  
すまよらうら 又 せきとま せきとま せきとま せきとま  
しよの半漏能木 はあそあうら 拾遺 物名ひろの木 神  
あいのこまのこら やつらん 三田乃川のあのみとら

五三

和傳赤檉木 年呂乃支枝葉 字檉 諸負及楊類加波也

檉榎 二字年呂 伊字檉 河柳又赤檉

法隆寺資財帳檉管別拾貳合丈六分白管 二合云々 又例ニ

管ハ檉木ニ作りタル管 其木ハ香木ニ出ラ生マキカニ

本綱ニ松楊其材如松如楊故云爾トイヘリ此ハ乃の本江ノケリキ

リ名トキエタルハシヨリウト云フ方マナレリ檉ハ爾雅檉河柳也郭璞云

今河傍赤莖小楊也ト云リ檉ヲハ乃のミナテタル本根ナラズト古キ

漢籍ニリケルニヨリテエタルハシカヤキハ別物ニ此字ニ種々名用タル

ナリ塵袋云檉字ハムロノ木欽河柳カ此字ヲ不ハ創メ又ハカヤキトモ

ヨム毛詩云啟之振之其檉具措トイヘリ柘字ヲ訓刻トモナレ

肥後隈本人長背真幸ト云備後ノ鞆浦磯近キ海中ノ泉水岩ト

奇巖種ニリテ景色ヨキ所アリ舟ヲ行ニ磯方ノ岸ト今江戸  
ニシヨリウネヨリウト云モノ大木ニテ数株アリ枝葉モラ海上へ垂  
レ覆ヒルササイトノツラシ是乃葉ニヨルハ乃の木ナリ疑ナレ  
里人ハ名ヲモ知ラズナリトイヘリ

むく

和涼 年久 本和上五八 椋子木 無久 和傳 同 字村又礎又枳

ク又積 札ムク 和玉積ム積 又椋ムキ

むく

和橐子 無久礼迄 和傳橐利 シシ 橐華 年久礼之又年久

和玉橐 シシ

むく

むく

医千權ウケ伊字イ柁セ和傳ワデン木キ權ケン坊ボウ

いめウメ

本ホン和ワ下カ世セ梅ウメ年ネン女メ

いイとトきキウウキキ

本ホン和ワ上ジョウ三サン五イ加カ年ネン古コ

和傳ワデン五イ加カ皮ヒ皮ヒ波ハ比ヒ乃ノ美ミ年ネン古コ岐キ

いイくク

和ワ郁ウ年ネン因イン

いイみミのノまマ

字ジ杜ト

いイらラ

和ワ玉タマ檜ヒノ

いイらラ

藻ソ九ク世セ

免行

めかつら

和玉棧又桂ツカ  
伊字桂ツカ  
棧同

めつら

藻丸丸

母行

いと

和傳桃枝人佐毛乃和玉桃毛乃藻九土  
皇極紀七二年二月辛巳朔庚子桃華始見拾遺とまけ  
公まきああささ時しふふいいううののりりかかつつささそそめめららああるるあり  
字あるる万万七七世世

とろあり

和胡頼子

とけ

本和下世 本以毛介

ととこ

字祈又楫 莽草

ゆくらよ

匡木蘭 毛久良尔

和傳木蘭 クモシヤ

ゆくらん

新韻樓

ゆらん

和傳亭華

毛久礼ニ之、布之乃支、匹年久礼之、年久礼之乃波奈

和玉穂 ニクレニ

藻九世

ゆらひのき

字櫛

林節橘

藻九世

日本紙名

紙櫃

朝鮮乃こえニ

和玉相手

本音 同

ゆらひのき

字櫛

ゆらひのき

万六世

ゆらひのきを音枝りさるのあまね

上下畧

ゆらひ

和玉蒙 又楓 ヲ

名蒙 ヲ

葉 ハ

黄葉 ハ

紅葉 ハ

藻

九十五

万六世 秋山のゆらひをきこよむひぬの好侍ゆらひん

山流 ゆらひ

ゆくらよ

匡木蘭 毛久良尔

和傳木蘭 クロモシヤ  
西毛久良尔

ゆくらん

新韻樓

ゆくらん

和傳崇華

毛久礼ニ之、布之乃支匹年  
久礼之、年久礼之乃波奈

和玉穂 シクレニ

藻九世

ゆくらん

字櫛

林節橘

藻九世

ゆくらん

和玉椏 モモ

林節 同

ゆくらん

字椏

ゆくらん

万六世

ゆくらんを音枝くまのあまほや

上下畧

ゆくらん

和玉蒙又楓 モモ

名蒙 モモ

葉 ハニテ

黄葉 同

紅葉 同

九十五

万世八秋山のゆくらんをきこまひぬり好代ゆくらん

山流ゆくらん

也行

やまのりハシカシ

本和上五

辛夷也

良也

伊字同字

良

辛夷

山何良

藻九世

和辛夷

夜不河良

古不之波

其子可喰

之

大膳

木園子

やまかハシカシ

本和上五

猪苓

也未知

やまのり

本和下世

櫻桃

也未知

和楊梅

伊字楊梅

同

櫻桃

同

和玉梳

やまのり

撮壤橋

和玉梳

又橋

近江御息所歌合

山何の

玉

よの中を

六十八

よの中を

よの中を

よの中を



ふらうをいかにせん山ありのしね続世継つらさり甘棠はた

やまかさ  
伊字鹿心栂 栂山長者也

万七 じきのをよりのしね山葎のをよる君のつら  
ひぬらん六帖我とく人免まぬををさししゆやわら  
山ちさのしね 近江御息所歌合 山ちさのしね  
ぬらん山ちさのしね山ちさのしね

やまろつさき  
伊字蜀漆 ヤマウツキ 藻九世 字獨漆 山ウツキ

やまぢらさき  
藻九世

やまぐら

和玉麩

やまぢらさき

和玉橙 ヤマヲ 伊字同

やまのさくら

字本辛夷

やまき ハコヤナキ

本和下三 白楊樹皮 地奈 和揚 伊字楊又青柳又蒲柳

和傳水楊柳 ヤマナ 又カハヤナキ 和玉楊又柳 ナ

万五十五 何をやまき栂とのををりしねのしね後からぬ

やとりき

延

和寄生

和玉鳩

やろル ヒニレヒキサクラ

本和上五 榆皮也近礼

和榆 伊字同 字榆皮

本和上六 蕪美 也余礼乃美

やお

伊字膠又脂

由行

おつは

信及案ニ若狭連之郡明通寺ノ山号桐山ト云テ呼来リ

万二五 いろー ぼろろのちり 絃葉のみ井のくー

るきわー 兼盛集 土青太雪のふけ 又家よとのこか

ー ぼろろのふらさゆー ぼろりちー ぼろり 奥山のふけ

ぼろろ ぼろろ ぼろろ ぼろろ ぼろろ ぼろろ ぼろろ ぼろろ

おつは

林節 榎 杜弓 法葉 模 榎 和玉 杜 又 樹 又 梓 伊字

樹 杜 同 藻 九 共 六

おふ

万二世五 かみ山のふけ 木綿みちろ 木綿か

おふくとふひき 又長 木綿花のさゆり

ゆーのき、ハ、フ

和柞 由之漢語柞 木名堪作梳也伊字柞ハユシ

催樂樂歌 大芥ノ畧ニルヤニハヒンヒンノ枝の田之の  
きのらんじりーかののうらうらうのさうさうセキ

ゆさのき

七十二番職人尽歌合 へーひきち いうまじんおの事めいひち

の木の子はよいれぬ人のころを

又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ 又ハハナ

ゆ

和橘柚由 伊字柚ユ 和玉柚ユ

ゆ

伊字榎椴ウカ 柚柑 同 林節柚柑ウカ 橙同

ゆヤあき カハヤナキ

匡水楊葉 加波也 奈岐 伊字楊キヤナ 字櫛

利行

りうあうリンゴ

りんご

本和下世三

林摘

古利古

林節

林摘

ゴリン

惠行

急エ之ス之キのフ急エ之ス之キ急エ之ス之キ急エ之ス之キ

急んス之キ

急すノ之キ

急んス之キ

字ハ穰ニ伊ニ字ハ槐ニ實ニ德ニ尔ニ湏ニ乃ニ和ニ槐ニ湏ニ惠ニ尔ニ本ニ和ニ土ニ吾ニ槐ニ實ニ

惠ニ乃ニ伊ニ字ハ槐ニ實ニ林ニ節ニ同ニ和ニ傳ニ槐ニ實ニ支ニ不ニ知ニ乃ニ美ニ加ニ惠ニ乃ニ美ニ

又ニ惠ニ湏ニ乃ニ和ニ玉ニ椽ニ又ニ槐ニ又ニ穰ニ之ニ

支ニ乃ニ美ニ

遠行

をうたまのうき

林節固玉木

貞丈函アリ

古今物名

なうきまのきま則みりしきよりしの流まほひ

いりるけいをうたまのきまもん 墨城亦勝目かけ

まもあまをうたまのきまもんけいしのほ城うたま

をうつら

和楓

和玉楓

をうつら

堀川百首江のみそくのつらをうつら—いしかまそそまあや  
まうれつ曾丹 山姫のをめそそあや衣かところまそそ不  
あをうつら—いしか

をうすりのやふ

本和上五  
ノ上松ヲ脱

松脂年加未都  
乃也尔

字檜  
私云字鏡  
前西域傳  
松一トアリ

をさこ

和玉根

をさこぼらナマエキ

延牡荊子

をさつめ

医酸末  
手奈和傳同  
川女

